

平成 30 年 3 月 1 日

ぱちんこ遊技機 性能表示モニタ概要説明書

日本遊技機工業組合

<搭載目的>

ぱちんこ遊技機に搭載される性能表示モニタは、出玉の性能が表示されることにより、遊技機が不正に改造されている恐れなどを確認できるようにすることを目的としています。

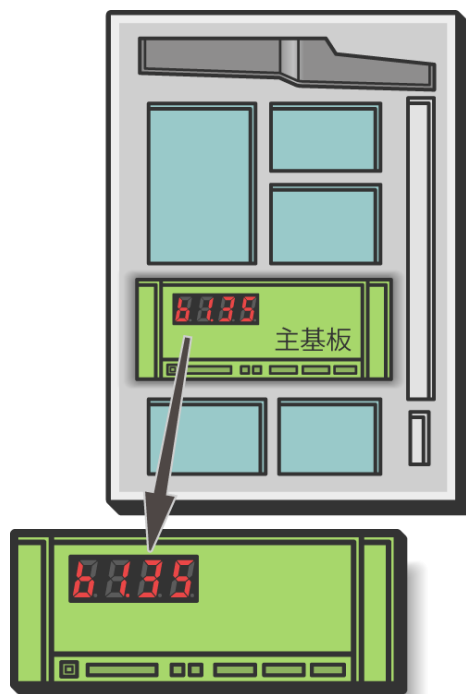
性能表示モニタに表示される内容は、主基板上に搭載されている4桁の7セグ表示器を使用し、アウト 60000 個毎のリアルタイムのベース値とアウト 60000 個毎の1 回前・2 回前・3 回前のベース値を表示します。

平成30年2月1日以降に型式試験申請を行うぱちんこ遊技機は性能表示モニタの搭載が必須となります。

<性能表示モニタの仕様について>

基本仕様	ベース値を主基板上の性能表示モニタ（4個の7セグで構成）に常時表示。
表示内容	遊技機の電源がONの間は、下表①～④を約5秒間隔で順に表示し、繰り返す。
●ベース値：アウトが60000個毎の通常遊技中（大当たり中、確変中、時短中、及び小当りラッシュ中以外）におけるベース値	

ぱちんこ遊技機（裏面）



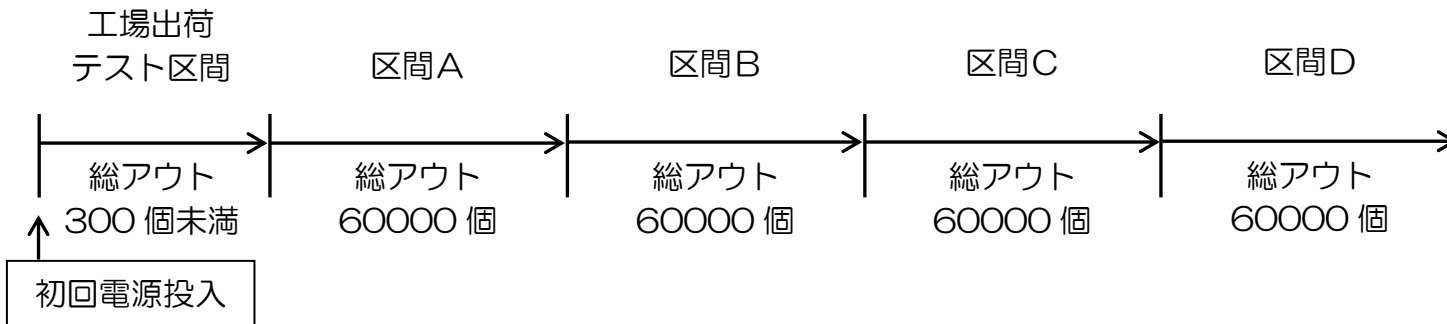
※主基板上（ケース内部）に
性能表示モニタを搭載

表示 順番	集計方法	表示内容	略記	識別子 (左2桁)	比率表示 (右2桁)
①	アウト60000個 (計測中) ※1	計測中のベース値	b L.	88	35
②	1回前のアウト60 000個(集計済)	1回前のベース値	b 1.	88	35
③	2回前のアウト60 000個(集計済)	2回前のベース値	b 2.	88	35
④	3回前のアウト60 000個(集計済)	3回前のベース値	b 3.	88	35

※1：計測中なのでアウト数は1個～59999個となる

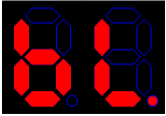
- 比率表示（右2桁）にベース値を表示
- ①は十分なアウト数（60000個）が蓄積されるまで、識別子（左2桁）が点滅
- ②～④で未集計項目は、識別子（左2桁）が点滅
- ②～④で未集計項目は、比率表示（右2桁）に「—」を表示
- ベース値は小数点以下第一位を四捨五入して表示
- ベース値が100以上の場合、比率表示（右2桁）に「99.」を表示
- 4回前のアウト60000個の集計結果は破棄

<詳細チャート>



	工場出荷テスト区間 総アウト 300 個未満	区間A 総アウト 60000 個	区間B 総アウト 60000 個	区間C 総アウト 60000 個
	「bL.」を点滅	区間内において、通常時のアウトが0～5999 個は「bL.」を点滅、6000 個以上は点灯	←同左	←同左
	「- -」を表示	リアルタイムで計算して区間内のベース値を表示	←同左	←同左
	「b1.」を点滅	←同左	「b1.」を点灯	←同左
	「- -」を表示	←同左	区間Aの最終ベース値を表示	区間Bの最終ベース値を表示
	「b2.」を点滅	←同左	←同左	「b2.」を点灯
	「- -」を表示	←同左	←同左	区間Aの最終ベース値を表示
	「b3.」を点滅	←同左	←同左	←同左
	「- -」を表示	←同左	←同左	←同左



	区間D	区間E	区間F以降
	総アウト 60000 個	総アウト 60000 個	総アウト 60000 個
	区間内において、通常時のアウトが0～5999 個は「bL」を点滅、6000 個以上は点灯 リアルタイムで計算して区間内のベース値を表示	←同左	←同左
	「b1」を点灯 区間Cの最終ベース値を表示	←同左 区間Dの最終ベース値を表示	←同左 1 回前の最終ベース値を表示
	「b2」を点灯 区間Bの最終ベース値を表示	←同左 区間Cの最終ベース値を表示	←同左 2 回前の最終ベース値を表示
	「b3」を点灯 区間Aの最終ベース値を表示	←同左 区間Bの最終ベース値を表示	←同左 3 回前の最終ベース値を表示